

次の各文は、参議院の比例代表区選出議員選挙のしくみをまとめたものです。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

- A 【 ① 】年ごとに議員の半数が改選②される。
- B 全国を一選挙区とする。政党に所属しない候補者は立候補できない。また、例外を除き③候補者の名簿順位を決めない。
- C 有権者は政党名または候補者名のいずれかを書いて投票する。
- D 政党の得票と候補者の得票を合計した数を、1から順に整数で割り、すべての商の中から大きい順に定数まで、各政党に議席を配分④する。
- E 各政党では、得票の多い候補者から順に当選する。

(1) 【 ① 】にあてはまる数字を書きなさい。

(2) 議員の半数が改選②について、参議院の比例代表区の選出議員の定数を答えなさい。

(3) 例外を除き③について、2019年7月の参議院議員選挙から政党内で優先的に当選者とされる特定枠の制度が導入されたが、それは選挙区制度が改正されたことによるものでした。どのような改正により特定枠制度が導入されたかかたんに説明しなさい。

(4) 各政党に議席を配分④について、このような議席配分の仕方を何というか、次から選び記号で答えなさい。

- ア ゲリマンダー イ コスタリカ ウ ドント エ ヘア・ニーマイヤー

(5) 下の表は、参議院の比例代表区選出議員選挙における政党（A～C）と、候補者（㉠～㉞）の得票数のモデルケースです。定数を6議席とする場合、当選する候補者を㉠～㉞の記号で答えなさい。

政党と候補者の得票数の合計	A党 210万票	B党 150万票	C党 90万票
候補者別 (上位5名)	㉠ 115000票	㉡ 160000票	㉢ 20000票
	㉣ 110000票	㉤ 150000票	㉥ 10000票
	㉦ 100000票	㉧ 125000票	㉨ 8000票
	㉩ 80000票	㉪ 120000票	㉫ 7000票
	㉬ 75000票	㉭ 115000票	㉮ 6000票

(6) 参議院の比例代表区選出議員選挙の一般的な特徴として正しいものを、次のア～ウから1つ選び記号で答えなさい。

- ア 得票数に比例して議席が配分されるため、選考全体の死票が少なくなる。
- イ 大政党がつねに有利になるため、小党分立になりにくく、政局が安定する。
- ウ 一票の価値の格差が大きく、選挙全体の死票が多くなる。

(1)	(2)
(3)	
(4)	(5)
(6)	

解答

- (1) 参議院議員の任期は6年ですが、半数ごとの改選となるため選挙は3年ごとに行われます。
- (2) 2018年の選挙法改正で、参議院の比例代表区の定数は100人とされました。
- (3) 2018年の選挙法改正で、鳥取・島根と高知・徳島の選挙区が合同区とされたため、同県選出の参議院議員がいなくなることを防ぐために特定枠が設定されました。
- (4) 日本の比例代表選挙の議席配分方式をドント式といいます。
- (5) 政党の得票数を $\div 1$ 、 $\div 2$...した値で下のように当選者を決めます。

政党と候補者の 得票数の合計	A党 210万票	B党 150万票	C党 90万票
$\div 1$	㉠210万→1位	㉡150万→2位	㉢90万→4位
$\div 2$	㉣105万→3位	㉤75万→5位	㉥45万
$\div 3$	㉦70万→6位	㉧50万	㉨30万
$\div 4$	㉩52.5万	㉪37.5万	㉫22.5万
$\div 5$	㉬42万	㉭30万	㉮18万

- (6) イ・ウは小選挙区制の特徴を説明した文章です。

(1)	3	(2)	100
(3)	鳥取・島根と高知・徳島が合同区とされた		
(4)	ウ	(5)	㉠㉣㉦㉩㉬
(6)	ア		